

第14回 国家財政の見える化委員会 開催

9月16日(火)第14回国家財政の見える化委員会を開催し、中長期の活動ロードマップやファクト集制作について意見交換を行いました。



▲江田座長名代
(麒麟ビール株式会社 執行役員)



▲意見交換の様子

25年度活動進捗報告

【活動進捗報告】

- 【調査報告】
国家財政の見える化に関する視点の整理
例) 議員は選挙対策、財源探しを重視した「見える化」
- 【調査報告】
予算審議の実態調査
例) 選挙対策を重視し、予算委員会はスキandalの追及を重視
- 【結果報告】
7月参院選 公開質問状
・独立財政機関について、与党・共産党が賛成に変化

【中長期ロードマップ 意見交換】

- 取り組みやその実現性を共有するロードマップ策定に向けた意見交換(キックオフ)

【ファクト集制作】

- 財政の正しい問題認識を持つためのツールを作成
・事務局案をもとに意見交換

意見交換のまとめ

- ・ロードマップ、ファクト集ともに前向きな評価をいただき、全体の方向性について合意が得られた。
- ・ロードマップについては、より実現可能性の高い中間目標を、時間軸とともに設定すべきとの意見があった。
- ・ファクト集については、情報の鮮度を意識した発信など、広報の視点を重視することの重要性が共有された。

【事務局所感】

発言の絶えない活発な意見交換となり、また、初参加の方も積極的にご意見頂き、ありがとうございました。

かねてより「分かりづらい」「難しい」とご指摘をいただいていたが、ロードマップの意見交換の中では、分かりやすくなったと評価いただき、また、見える化の実現に向けた具体的な意見など、前向きなご意見も頂くことができました。

また、ファクト集の制作も見える化の取り組みを裏付け、共感を得るための効果的なツールとなり得るとの手ごたえを得ることができました。